PRISM研究開発型の概要

平成30年度　PRISM研究開発型　予算配分対象施策

領域名	省庁名	PRISM対象施策名
革新的サイバー空間基盤技術（8施策）（現AI技術領域）	農林水産省	AIを活用した食品における効率的な流通支援システムの開発
	総務省	IoT共通基盤技術の確立・実証
	経済産業省	次世代人工知能・ロボット中核技術開発のうち食品のAI技術による生産・流通最適化
	経済産業省	次世代人工知能・ロボット中核技術開発のうち地域包括ケアの日本モデルの構築
	文部科学省	AIP: 人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト
	厚生労働省	新薬創出を加速する人工知能の開発
	総務省	多言語音声翻訳技術の高度化
	経済産業省	未踏IT人材発掘・育成事業（未踏ターゲット事業）
革新的フィジカル空間基盤技術領域（廃止）（4施策）	農林水産省	AIを活用した栽培・労務管理の最適化技術の開発
	文部科学省	革新的材料開発力強化プログラム（M-cubeプログラム）
	文部科学省	光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP）
	経済産業省	AIチップ開発加速のためのイノベーション推進事業

領域名	省庁名	PRISM対象施策名
革新的建設・インフラ維持管理技術／革新的防災・減災技術領域（9施策）	農林水産省	山地災害リスクを低減する技術の開発
	農林水産省	豪雨に対応するためのほ場の排水・保水機能活用手法の開発
	文部科学省	高い『事業継続』能力を実現する防災・減災技術の開発
	国土交通省	i-Constructionの推進
	国土交通省	効率的かつ効果的なインフラ維持管理・更新の実現
	国土交通省	仮設・復興住宅の早期整備による応急対応促進
	国土交通省	気象・水位情報の提供による応急対応促進
	国土交通省	海洋・沿岸構造物の維持管理データの3D・4D化による点検・診断効率化
	国土交通省	台風・集中豪雨対策等の強化に関する研究

PRISM研究開発型の概要

令和元年度　PRISM研究開発型　予算配分対象施策

領域名	省庁名	PRISM対象施策名
AI技術領域（11施策）	厚生労働省	新薬創出を加速する症例データベースの構築・拡充
	文部科学省	創薬ターゲット推定アルゴリズムの開発
	厚生労働省	スマートケア実現に向けたプラットフォームの構築
	厚生労働省	スマート介護予防プラットフォームの構築
	農林水産省	AIを活用した大規模施設生産・育種等のスマート化
	文部科学省	農畜産向けにおいセンサ及びモイスチャーセンサの開発
	総務省	トラステッドメッシュネットワーク技術の開発
	警察庁	5Gネットワークの構築に交通信号機を活用するための研究開発
	国土交通省	物流データプラットフォーム展開を踏まえた生産性革命
	総務省	AIを活用したサイバー攻撃対策技術の開発
	総務省	翻訳技術の高度化及び民間利活用促進
技術／革新的防災・減災技術領域 革新的建設・インフラ維持管理（11施策）	国土交通省	【データ基盤】「インフラ・データプラットフォーム」構築
	国土交通省	【調査・測量・設計】レーザー測量の高度化、施工維持管理まで使用可能な3D設計システム開発
	国土交通省	【施工・監督検査】無人工事現場実現に向けた建機の自動制御・群制御、施工データの3D化及び同データに基づく検査技術開発
	国土交通省	【維持管理】インフラデータのAI解析による要補修箇所の早期検知・原因分析・補修に係る研究開発

領域名	省庁名	PRISM対象施策名
技術／革新的防災・減災技術領域 革新的建設・インフラ維持管理（11施策）	文部科学省	官民連携による防災情報サービスプラットフォームの構築及び適切な災害対応の促進 ※旧施策名：長周期地震動・詳細震度分布等解析及び同解析結果に基づく応急対応促進
	国土交通省	竜巻等の自動検知・進路予測システム開発
	農林水産省	ほ場の保水機能を活用した洪水防止システム開発
	国土交通省	気象・河川水位情報等の提供による応急対応促進
	農林水産省	森林地崩壊予測システム開発
	国土交通省	三次元レーザスキャナによる住宅被害（使用可否）判定システム開発
	総務省	Lアラートを活用した自治体・ライフライン情報の連携
バイオ技術領域（5施策）	厚生労働省	糖尿病関連ヘルスケア情報の基盤構築及び産業利用に向けたヘルスケア情報の基盤構築
	農林水産省	「パスウェイ型シミュレータ」の開発及びバイオデータ連携基盤の構築
	農林水産省	既存育種データの一元化データベースの構築及びゲノム編集標的配列予測ツールの開発
	文部科学省	バイオ分野の基礎研究における機器共用の促進
	国土交通省	木材需要拡大に資する大型建築物普及のための技術開発

※「バイオ技術領域」：令和元年6月にバイオ戦略2019が策定され、令和元年9月に設置。